

会報 長事研

長与町立長与小学校内
発行責任者 上戸 健
2015(H27)年11月25日発行

雪丸先生講演の後半をお伝えします

先月「会報長事研65号」で、全事研熊本大会第3分科会で行われた雪丸先生の講演の前半部分をお届けしましたが、本号ではその後半部分をお伝えします。カリキュラムマネジメントや今日的な話題のアクティブラーニングなどのお話しが出てきます。また、10月30日(金)に、長崎市の市民会館で第2回理事会評議員会が開催されました。会では、6月に開催された長事研セミナーについて、また、熊本大会第3分科会で発表した長事研特別委員会が作成した「学校事務のグランドデザイン」について学習を深めるとともに、今後の方向性について話し合いが行われました。

*記載にあたって、句読点及び()書きについては、編集者で挿入いたしました。また、読みやすくするために文語調に一部変更しています。

「カリキュラムマネジメントと学校事務職員」VOL2

講師：雪丸武彦先生

全事研熊本大会 第3分科会にて H27.8.6

長崎県立大学では「島プロジェクト」なるものを実施していきまして、長崎県は非常に島が多いので、その島を利用して学生の学びというのを作り上げていこうと考えたプロジェクトです。これ文部科学省がCOCセンターオブコミュニティという事業を行っておりまして、その事業に手を上げて採択されて5年間補助金をいただいている状況です。現在2年目なのですが、この実践ってどんなもんか羅列をさせていただくと、長崎県の島の課題というのを学生自身がまず把握しグループで話し合いを行って、その課題はどんな構造になっているのか、何が原因になっているのかっていうのをある程度話し合います。それで、島で実際に調査を行います、その調査のための計画を設計します。島の各機関へのアポ取りを学生自身が島に行き、10人から15人程度グループごとに1週間島で調査を行います。ちなみに教員もついていきますので8月から9月の間でほしい1週間程度、教員の夏休みはどんどん減らされています(笑)住民の方に向けてそして報告会まで実施するという事になっています。朝早くから夕方までずつつきつきりで学生とおりました大変なのです。教員は、これだけでいろいろやっているのですけれども当然ながらこれに付随していろいろなことを用意しないといけないのです。大学の事務職員も、まず、島の課題の把握のためにゲストティーチャーを連れてこられます。島の方からですよ。その講義を行うのですがその事前調整がずいぶんなされています。島の中で誰がいいのかを話し合いをしてもらうわけですね。この人がいいと推薦してもらって当然ながらその人を連れてくる時にはいろんな各種旅費等がかかるわけですね。そしてグループの話し合いになるとタブレットを使用します。タブレット型のipadを使います。このipad

は島へグループごとに1台持って行くことになります。このタブレットの中で、それぞれの話し合いの中をまとめて報告するときもインターネット上でタブレットから報告を行うという形になります。調査のための計画設計ですが、何とはなしに今の学生にぼんと「計画を立ててね」といっても計画は立たないので専用テキストをわざわざ用意して、例えば交通機関はこんなものがありますよとか、ここにはこんな建物があってここにはこういう人がいてっていうのを全部記したテキストを用意しないといけない。島の機関のアポ取りですが、学生にアポ取りをさせますが、いきなりさせるわけには当然いかないわけで、事前に教員とか事務職員が各種機関にアポ取りの事前のアポ取りをする。事前の連絡をして「学生が連絡をしてご迷惑をおかけします、よろしくお願ひします。」そんなことをお願いするわけですね。グループごとに1週間調査を行うわけですが、行事などの確認もします。島の中は、実は公共交通機関があんまり発達してなくて遠くまでいくためにはタクシーを使わないといけません。タクシーを使う訳ですが、学生に直接お金を扱わせる訳にはいかないからどうするかというと、タクシー券を用意するわけですね。タクシー券を誰が用意するかと思ったらこれは事務職員の方が用意するわけですね。なんか面倒なことになっていますよね。報告会を実施するにしても会場を用意したり設営したりするわけですね。また報告書作りまでしないといけないということですね。いろんなトラブルが起きます。例えば、タブレットを使用しますが、インターネットができるようにするわけですね。最近の学生はタブレットを使うのが大好きで、なぜ大好きかというとゲームができるからですね。タブレットはとりあえずぼんと渡すのではなくインターネットができる容量というのをある程度決めますよね。何メガ、何ギガというのを決めてその範囲で使ってくださいということですね。契約を結んでいますが、ゲームをすると一気にその容量

がバーンと減ります。船で島に行くのですが、その間に学生が遊ぶのですね。遊んじゃったら島に着いたらインターネットが一切使えない、無用の長物になったりしてこれが大変なのです。そんなことが起こっているいろんなことを想定しながらやらないとこれはまずいぞ、というのがアクティブラーニングと実感しています。いや大変ですよ。学習のことでいうと非常に学生間に意欲がずいぶん違ってうまく学びにつながらない学生もいるというのが問題点なのですが、それはおいとましましょう。学校で予想される変化といったものがどんなものがあるかということなのですが、これを踏まえますと、小中学校にミニチュア版が入るといったことになろうかと思えます。もちろん入れるところと入れないところが多分出てくるのですね。そこは、学校で違うという風に思えます。アクティブラーニング導入によるカリキュラムのアクティブ化というのがこれから起こるであろうというのが私の推測で「おもしろいけど大変だ」「大変だけどおもしろい」どちらの表現を使うのがいいのか適切かはわかりませんが、まあ大変だろうという風に思えます。要はいろんなやらないといけないことというのが増えてくるわけです。かつてであれば教科書があって、黒板とチョークがあれば教員がとりあえず授業をしてそれぞれ好き勝手やってそれで学校が回るということで終わっていたのですが、これからはカリキュラムというのをそれなりに考えていろんなつながりを考えてアクティブラーニングで学んでいこうということになります。これはおそらく否応がなしに期待される事務職員という部分がでてくるのではないかと思うのですね。先ほどの船ですけれど、島へは、大学が学生を連れて行くのですが保護者がめちゃくちゃ連絡をしてくれます。「大丈夫なのか」「本当に学べるのか」とかですね。それで教員の方に連絡かけてもらっても、よくわからないよとなったりして大変なのですけれども、もしかしたらそういう窓口的なことも含めてなんですが、多分いろいろと出てくるのだらうと思うのですね。まず予算面というところで当然ながらカリキュラム計画実施が可能かどうか判断して裏付けをちゃんと行うという確かな目というのがよりいっそう求められるはずですね。アクティブラーニングを導入すると。ちゃんとするとですね。何となくこれでいいやと校長先生が言ってくれたらいいですけど、まあ校長次第というか学校の先生方のやる気次第ということも出てくるかもしれません。また、先生方によってはですね「もう何メガぐらいでいいよ」という人がいたのですが、それではタブレットはうまくいかないのがわかっておりまして、その際には事務職員の方が「今の学生はこんな感じですよ」事務職員の方が意外と詳しいことがあっていろいろ提案してくださったのです。

学校や教育に関する情報をそれなりに集めておいて整理して、いざというときにというのが重要だと思います。求められたときに求められなければそんな仕事やらなくてもいいと思います。いざという時に出てくると思えます。こういふときに提案できるような情報収集能力とか企画提案能力といったものがよりいっそう求められるであろうと。また問題が起こることを予想して動く予見能力とか危機対応能力というのがもしかしたら事務職員にも求められるようになるかもしれないということです。あんな危ないことやっていて大丈夫かよということですね。教員よりもむしろこれは客観的に見ることでできる事務職員の方がいろんなことを想定できるのかもしれないという話を伺って事務職員の方と話をすると感じているところです。タブレットの話もそうなのですけれども、アクティブに子どもが行動するようになると、いろいろとリスクが高まります。その際に何が起こるかということをおある程度想定しておく必要があって、そのときにどういふ対応をすればいいのか教員の方だけではもしかしたら手が足りないということが出てくるかもしれないと思います。また外部との接触というのが、これまで以上に高まりますので、そういったときに渉外能力を発揮できる人がいいのだらうなと思っているところです。

アクティブラーニングというちょっと厄介なものが入ってくるということで、いろいろ大変になるかもしれないけど、これはよい契機と捉えることもできるかもしれません。そのあたりの捉え方はそれぞれの事務職員の方次第であろうと思います。当然ながらいろいろな力が必要になるということではあるのですが、それぞれの学校の規模とかあるいは1人職か2人職かということもあるでしょうし、それぞれの教員の考え方で事務職員には口を出してもらいたくないみたいな古いタイプの学校の教員というのもしいるでしょうし、校長先生もそれぞれ考え方があってしょうからすべての力をがんばって高めようといったことではないのかもしれませんが、しかし、いざという時にこういう力を持っておかないと対応ができなくなる、つまり身構えておいたほうがいいですよという話です。ちなみにこういった力は、私は学校事務のグランドデザインという全事研が出しているのがありますが、それを読んでおりますとすでにこういったことというのは実は書いてあります。ご興味のある方は眺めていただければなという風に思っております。

ところでいろいろ期待をされるのだけれども、実はお願いされることも多くなり、むしろこれから教員側が困ることが出てくるのだらうというのが、実は私の認識です。コミュニケーションをもっとはかった方がいいのではないかと

と思っています。事務職員の方のいろんな本を読んだり、事務職員の方と話しておりますと、戦後1947年に学校教育法ができてそれから約70年経つけれども、壁があるのだなというのをつくづく感じています。こんな高い壁が、こんな深い谷があったのかとそのぐらい感じています。アクティブラーニングというなんだか面倒くさいものが入ってくると、おそらくコミュニケーションをとっていかないから仕事はしないよといったことは言っていられなくなるのではないかなという風に思いますし、子どもの学びの保証というのを考えるとずっと両者が**(教員と事務職員)** コミュニケーションをとる必要があるのだろうなという風に考えるところです。正確な事務職員理解を促すというのが大事な1つの仕事なのではないかと思うのです。教育の話をするのと教員にとって基本的ですけど、子どもに対して行うことで大事な仕事というのは子どもに教師を理解させることなのですね。教師がどういうことをやったら嬉しいのか、どういうことをやると悲しいのか、どういうことをやると怒るのかといったラインというのをちゃんと理解させるというのがまずもって人間関係作りの基本で大事なのだとおっしゃる先生もいらっしゃいます。関わり方が要はわかるということですよ。子どもと教員の間で。これと同じようなことが事務職員の方と教員の間でももしかしたらいえるのではないかということですね。

管理職教員に事務職員をちゃんと理解させることがまずもって必要で、例えば先ほどの平戸市や佐世保市の例にもありましたけれども予算獲得のためにこんなに事務職員の方ががんばっておられると言うことを、正確に予算の時期なんかこういうタイムスケジュールになっているので、この月までにどうにかしないといけないのだとそういった細かい話をちゃんといえる教員ってそんなにいないのではないかと思います。そういったことをちゃんと伝えるとやっぱりほら必要だなと思うと思います。私は何をしたいのか、どういうことができるのか、どういうことについてよく知っているのかなんて言うことから少しずつ始めていって、いざという時、何かを突然やらなきゃいけないってなったときに、「事務職員さんお願いします。」そんな関係を、また事務職員の方ももしかしたら教員に対して何かと言うこともあるかもしれませんが、コミュニケーションをとっていくことが必要だろうという風に思います。学校規模に随分と左右されると思いますが、何十人も学校の先生がいるところでは、1つの学年でも顔と名前が一致するのも1年間かかるかといったことがあろうかと思いますが、何らかの形で便りを常に出して自分がどんな存在かというのをちゃんとわかるように、どんな大事な仕事をしているのかというのがわかってもらえるようにそういう風にするとかいろ

んな工夫というのが必要になってくるんじゃないのかなと思っています。また同時に当然ながら現実で可能な限り教員や管理職の理解をするということですね。これが1000人単位の学校で子どもをすべて理解するこれはまず無理し、学校の先生方も話を聞くと校長先生に話を聞くと生徒数300人ぐらいが限界だといっておられますけど、現実的で可能な範囲で子どものことも、もちろん子どものすべてを知るわけじゃなくて、いろんなデータとして子どもを知っておくこともあるかと思います。そういった範囲で子どもの理解をすると言ったことや管理職というのがいったい何をしたいのか、何をやろうとしているのか、もう何か手を上げようとしているぞ、そこら辺を理解するということや、教員が何かをやりたいと思っているのかそれともそうじゃないのかさらに言うとカリキュラムのことについてどんなものを求めているのかといったその要求のレベルまで、もしかしたら理解をしていくと今後より学校というのが輝くじゃないかなという風に思います。アクティブラーニングでやらされると言ったこともあるかもしれませんが、こういうことを是非考えていただきたいと思っています。

最後にグランドデザインのことでお話ししておきますとグランドデザインってとっても大事なものと私自身思っております、事務職員の行動指針とか歩むべき姿としてまずこれはないといけないものだと思うんです。吉田松陰の言葉で

「夢なき者に理想なし理想なき者に計画なし計画なき者に実行なし実行なき者に成功なし故に夢なき者に成功なし」ということを言っておられます。今「花燃ゆ」の視聴率がよくないのですけれどもいいこと言っていますよ。やはり夢を持つと言うことは大切なのです。そして夢というものをちゃんと伝えていくということが大事だろうという風に思っているのです。形にしておく必要があってその意味でグランドデザインというのは間違いなく必要であり、今後いろんな事態がおこると思いますが、アクティブラーニングにせよいろんな活動をしなくてはならないことが出てくると思うのですが、その際に仕事のやりがいというのを見失うことも、もしかしたらあるかもしれない。要は多忙化等々おこりまして自分がそもそも何のためにやっているのかといった部分が、うまく自分の中で消化できないと言ったこととがどんどん出てくるかもしれないですが、それがグランドデザインというのがあると自分はこれに向かってやっているのだということを理解できるそれなりに咀嚼できるという部分、これがとても大事なんじゃないかなという風に思います。また他者とのコミュニケーションツールといったことでもとても大事だということです。これは学校事務職員の方がこれは学校の教員に対して校長先

生に対して教育委員会に対してあるいは文部科学省に対してということもあるかもしれません。こういう人たちに事務職員って何をしたいのか何ができるのか、何についてよく知っていて何を望んでいるのかというのをちゃんと伝え事務職員のステータスをあげていくというふうなことで間違いなく大事なものだと思っています。是非よいグランドデザインをどんどん作っていただいでみんながこのためにがんばろうという風に思えるようなものそういうものを作っていただければなどと考えています。

ご静聴ありがとうございました。

注：今回は雪丸先生の許可をいただき記載できることになりました。無断での転載等は堅くお断りいたします。

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

◎第2回理事会評議員会

平成27年10月30日 長崎市市民会館

長事研セミナーについて

アンケートについて

本年度のセミナーは、グランドデザインの研究報告、その研究報告を受けておこなったグループ討議、雪丸先生の講演と盛りだくさんの内容で開催されました。その時いただいたアンケートの結果から、開催期日、研究内容、講演内容については、参加者から概ね高い評価いただいていたことが分かりました。しかし、参加者の更なる増加が是非とも必要となっています。各支部でも会員も含め情宣活動をさらに活発におこなう必要があるようです。また、開催日程については、終日日程とするのか半日日程とするのか検討しなければならないようです。開催日については、来年度の開催日は6月24日（金）、開催場所は長崎市を中心に準備に入ることになりました。少々早いようですが、会員全員参加に向けて、各種日程の調整等よろしく願います。

「学校事務のグランドデザイン」について

参加者の長事研役員支部長の方々にグランドデザインをより深く理解していただくことを目的に、中村 指方両特別委員会委員から、「学校事務のグランドデザイン」について、その目的等について説明がおこなわれました。その後質疑がおこなわれました。質疑の中では、支部長の方から「グランドデザインとは端的に何ですか。地区に帰ってそのように説明すればいいのですか」との質問に、特別委員会かたは「グランドデザインとは、学校事務の全体構想といえるのではないのでしょうか。また、各市町で学校事務職員を取り巻く状況はちがうので、どこに力を入れるかでは

ないかと」との答弁がありました。そのほか活発に議論が交わされました。最後は、この特別委員会が作成された「グランドデザイン」を長事研の案として県内支部で議論していただくことになりました。多くの御意見をお聞かせください。

全事研11月期調査について

毎年実施されている調査ですが、全事研活動の大きな柱となる活動です。市町教育委員会への要請や教材の調査など会員の皆様の御協力をお願いします。

◎お知らせ

全事研セミナーの開催

日時：平成28年2月10日（水）

場所：東京都北区 北トピア

※参加を希望される方は、12月7日までに各支部長へ申し出てください。また、各支部長は、12月11日までに事務局長(南部)まで申込みをしてください。

各地の研究会の案内

・第36回鹿児島県小中学校事務研究大会

日時：平成28年1月14日(木)～15日(金)

場所：かごしま県民交流センター

・第52回宮崎県公立小中学校事務研究大会

日時：平成28年1月15日（金）

場所：新富町文化会館

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

〈会報連絡先〉

長崎市立三和中学校：南部 省吾

TEL 095-892-1119 FAX 095-892-2474